

採用職種と主な業務内容



よくある質問

<h3>調査・計画</h3> <p>事業実施のための現状調査・整備効果・経済性や環境影響評価などの実施・計画、関係機関との調整</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>	<h3>設計・積算</h3> <p>事業実施のための施工方法・経済性などの検討、最適な設計と費用の算出</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>
<h3>用地・補償</h3> <p>河川、道路、港湾、空港などを整備するための用地取得、土地所有者などに対する損失の補償に関する事務</p> <p>行政</p>	<h3>経理・契約</h3> <p>予算管理・歳入・支払、決算などの経理事務、請負契約の締結・物品購入・国有財産の管理などの契約事務</p> <p>行政</p>
<h3>施工監督</h3> <p>発注した工事を設計通りに進めるための監督・指導、現場における問題の地元・関係機関との協議・検討</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>	<h3>維持・管理</h3> <p>国土交通省が管理する公共物の維持・補修・情報提供、河川・道路敷地使用の許認可</p> <p>行政 土木 電気 機械</p>
<h3>国土政策</h3> <p>地域のニーズを的確に捉え、学識経験者や有識者とともにプランを作成し、社会資本整備の方向性を提示</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>	<h3>防災</h3> <p>風水害、雪害、地震等、自然災害への備え及び災害対応</p> <p>行政 土木 電気 機械 建築</p>
<h3>都市・住宅・まちづくり・建設産業</h3> <p>建設業、不動産業等の監督・指導、都市計画、区画整理、公営住宅等に関する許認可等</p> <p>土木 行政</p>	<h3>総務</h3> <p>給与、福利厚生、研修等に加え、庁舎運営や公文書管理等、組織全体を幅広くサポートする業務</p> <p>行政</p>

Q 初任給や諸手当は？

A 大卒程度の初任給は、232,000円です。高専卒でも国家公務員一般職試験に合格すれば、大卒者と同様の給与が支給されます。手当は主に以下の内容があります。

- ・超過勤務手当(残業代)
- ・期末・勤勉手当：1年間に俸給等の約4.65月分
- ・地域手当：(例)大阪市に勤務する場合、俸給等の16%を支給
- ・通勤手当：交通機関を利用している者等に、定期券相当額(最大月15万円)
- ・住居手当：借家(賃貸アパート等)に住んでいる者等に、月額最高2.8万円 (令和8年4月1日現在)

Q 就業時間や休暇は？

A 1日7時間45分勤務です。
大阪市内の勤務地：9:15～18:00
(休憩12:00～13:00)

それ以外の勤務地：8:30～17:15
(休憩12:00～13:00)

5:00～22:00の間に勤務時間を割り振ることができるフレックス勤務も可能です。その場合、4週で155時間を確保できるよう割り振ります。その他、7～9月の間の平日3日間連続取得できる夏季休暇や病気休暇などの制度があります。

Q 仕事は1人をするのですか？

A 仕事は組織で行います。課長などの管理職、係長等、主任・係員がチームとなって働いています。個人の業務についても上司と相談しながら進めるので、困ったことがあればチームで解決していきます。

Q 希望する部署へは行けますか？

A 採用前に、勤務地や職務に関する希望を伺います。また採用後も、同様の希望を提出することができます。

Q 転勤があると聞いていますが、宿舎はありますか？

A 単身用の宿舎(寮)、家族で住める世帯用宿舎が管内各地にあります。また宿舎に住まず、民間の賃貸住宅を借りた場合にも、家賃に応じた住居手当が支給されます。

Q 配属先や異動は？

A 本局をはじめ、管内にあるすべての事務所が異動の対象になります。配属部署は概ね2～3年で変わるケースが多く、地方公共団体などへの出向もあります。一方、同じ庁舎内・課内の異動もあるため、必ずしも「異動＝引っ越し」ではありません。

Q 異動が多いと仕事に慣れるのが大変では？

A 異動によって新しい仕事を担当する時、はじめは戸惑うこともありますが、先輩や同僚、上司に相談しながら取り組むことで次第に慣れてきます。また講習会や研修で知識を習得する機会も多く、スキルアップの体制が整っています。年数が経つと、様々な部署で積んだ経験が活かされます。

Q 技術系で土木以外の専攻でも大丈夫？

A 土木職以外にも電気職・機械職・建築職が活躍しています。また、上記以外を専攻(農学系・理学系・林学系)してきた職員も近年増えています。人物重視の選考を行いますので、土木を専攻していなくても不利になることはありません。入省してから研修や実務などを通じて、必要な知識を習得できますので安心してください。

[環境]

著名人に会える。

事業の完成式典で運営スタッフをした際、知事や市長など普段ニュースで見るとな方々のそばで仕事をする機会があり、「やっぱり国交省スゲー」と感動。家族や友達にも自慢しました。

(令和3年入省・土木)



[働き方]

外出しがち。

公務員は静かにデスクワークしているイメージでしたが、実際は現場に出て工事の進捗確認をしたり、県庁や市役所などを訪問して打合せしたり、意外と活発に動きまわっています。

(令和6年入省・土木)



「雲井気」

ゼロから学べる。

専門知識がないと仕事についていけないのではと不安でしたが、「気負わず仕事をしながら学べばいい」と上司に言ってもらい、安心して業務に取り組んでいます。わからないことがあれば丁寧に教えてくれる環境が整っています。

(令和6年入省・土木)

おしえて先輩!

国交省職員のリアル

学生時代に描いていたイメージと、実際に働きはじめて知った現実とのギャップ。入省1~2年目の先輩たちの驚きや発見をご紹介します。

(令和3年入省・行政[事務])

「動き方」

運転免許は必須ではない。仕事で車に乗るときは若手が運転するのだと思っていました。ペーパードライバーなので不安でしたが、実際はルートを熟知した外部委託の運転手さんがいるので、安心して現場に出られます。

[仕事内容]

規模が桁違い。

1年目から何億円もの予算管理や、河川整備のための業務発注、コンサル業者との打合せなどに携わりました。最初から責任ある仕事に携わることには驚きつつも、そのスケールの大きさにやりがいを感じています。

(令和4年入省・土木)



[休暇]

しっかり休める。

休暇が比較的とりやすく、年次休暇や夏季休暇を生かして趣味の旅行に行くことができる。

(令和6年入省・土木)

◎ 本局

はじめが都市部から離れた地域での配属だったため、都市部での働き方に馴染めるか不安でしたが、実際に働いてみると、働き方に大きな違いはなく、むしろ地方で培った現場力を活かして、安心して仕事に取り組めた。

(平成25年入省・土木)

◎ 舞鶴

仕事とプライベートのメリハリが素晴らしい。定時後に釣りに行けて、平日も休日のように楽しい。

(令和5年入省・土木)



◎ 豊岡

山に囲まれた生活から、海に面した生活へ。風の強さや天気の違い、夏の遊び場の多さなど、新たな経験を楽しみながら見知らぬ土地で過ごした1年は、度胸を育ててくれた。

(令和6年入省・土木)



◎ 異動のホンネ

近畿地方整備局では、出身地よりも先に「どこの事務所にいたの?」と聞くのがスタンダード。たくさんの異動を経験し、たくましく成長した先輩たちのエピソードをご紹介します。

◎ 紀伊山系

山奥の現場が多い分、道中の道の駅で見つけた観光情報をもとに休日は観光スポットに出かけ、行動の幅が広がった。

(平成28年入省・土木)



◎ 福井

渋滞状況や人口減少などの社会課題。地方に暮らすからこそ課題を肌で知り、国交省として何ができるか自ら考えるようになった。

(平成31年入省・土木)

◎ 姫路

その地域ならではの食べ物やイベントにたくさん触れることができ、「住めば都」ということをもっと体感した。

(令和7年入省・行政[事務])

◎ 大規模事業は地方に多い。

日本最大規模の流水型ダムに携わることで自分の仕事に自信を持つことができた。

(平成31年入省・土木)

◎ 足羽川ダム